

ヨットクラブ対抗ヨットレース&ブラインドセーリング大会参加レポート

9月17日（土）～18日（日）に横浜クルージングクラブ（YCC）で開催された第5回東京湾ヨットクラブ対抗ヨットレースと第13回横浜港ボート天国ブラインドセーリング大会に参加してきました。

大会は、2日にわたって開催され、1日目が東京湾内のヨットクラブが参加するクラブ対抗レース。2日目は視覚障害者がヘルムスのブラインドセーラー交えての対抗レースです。ブラインドレーサとサイトッド（晴眼者）と一緒に競うヨットレースは、世界中をみても珍しいとのこと。今年で5年目、普段は帆走禁止区域の横浜みなとみらい21の海域で行われるJ24のワンメイクレースです。各クラブとも威信をかけ参加してきました。



《横浜港 みなとみらい21 インターコンチネンタルホテル前 レース海域》

1日目。抽選で乗る船を決めます。

艇は8艇（YCC 所有）していて、セール番号がついている全日本選手権に出場艇（Po1oの社長がオーナーだったそうです）もあり、同じJ24でも艇差がありそうです。TYC ALL STARSは、14号艇でした。



《山本艇長の抽選（YVC 市毛さん撮影）》

クラブ対抗参加 TYC は混成チーム「Team TYC All Stars」での参戦。
初日の東京湾ヨットクラブ対抗戦は、和田総監督のもと、艇長&メイントリム山本（Zephyros）、ヘルムス新富美雪ちゃん（Zephyros クルー）、ジブトリマー済木（Forte、Twilight クルー）、バウ小室（Team10Jr. ASTO クルー）の5名、昨年のクラブ対抗優勝メンバーで望みました。



《初日の参加メンバー》

大会は名取レース委員長、堀大会実行委員長の挨拶に引き続いて、各艇ともレース海面へ出ていき、5レースでの激戦？が始まります。今年は2クラブが都合で参加できず、5クラブによる対抗戦となりました。



《名取レース委員長並びに堀大会実行委員長の挨拶》

コースは、スタートラインが中間にある上下ソーセージで5レグ 北よりの風で1レース目が始まりました。

風に振れがあり、南にシフト気味です。1レース目、スタートで遅れ2レグまでは4位で走っていましたが、3レグ目で海面選択が功を奏して、4レグ下で2位まで上がり、そのまま2位でフィニッシュしました。



《R1 Finish[2位]》

レースは1、2レースで1位を取った13号艇 YBYC（横浜ベイサイドヨットクラブ）が先行し、8号艇 YYC（横浜ヨット協会）と14号艇 TYCが3、4レースで1位を取り、最終5レースで優勝はこの3艇に絞られました。



《R4 Start》

最終戦、スタートして最初の上マーク、TYCがトップ回航。すぐ後ろが13号艇のYBYC。最終マークをトップ回航するも、最終レグわずかの風の振れを受けて2位でフィニッシュです。



《最終レース Finish[2位]》

結果、昨年クラブ対抗2位だったYBYC（横浜ベイサイドヨットクラブ）が優勝。TYCは準優勝でした。成績順位は、TYC 2-2-3-1-2, YBYC 1-1-2-3-1 でした。その後YCCの歴史のあるクラブハウスとおいしい料理と素敵なバンドでクラブ間の親交を深め、すばらしい表彰パーティを楽しみました。夜は芝生のテラスでYCCメンバーと遅くまで楽しみました。



《初日前夜祭にて(YYC市毛さん撮影)》

翌、18日は第13回横浜港ボート天国ブラインドセーリング大会です。

J24が8艇で、ブラインドチームが3艇のため、前日のクラブ対抗を予選として、上位5艇がブラインドセーリング大会に参戦できます。

今年は、ベラシスチームと浦安・木更津チームが不参加であったために、クラブ対抗の5艇が全艇参戦することができました。



《ぷかり栈橋 レース参加艇の集合》

前日の参加メンバー美雪ちゃんとチェンジし、ニューフェイス、小屋エミリちゃんが初参加です。シングルのディンギーレーザーの現役選手、J-24でTYC All Starsデビューです。



《2日目の Team TYC All Stars》

2日目のブラインド大会では総合6位と残念な結果でしたが、次に向けての課題も明確になり、まだまだ出来ることがあります。

東京湾内クラブの中で唯一の混成チーム。腕を磨いて来年に望みたいと思います。

その後、総合表彰式での写真は、左から YCC 堀 理事長・TYC 小室・済木・和田・小島会長・神奈川県連 貝藤会長

素適な2日間でした。

レポート (Team10Jr. 小室)、写真提供 YCC (横浜ヨット協会) 市毛様、TYC 和田顧問



《表彰式&パーティにて》